

日本カトリック神学会 第35回学術大会

総合テーマ：「教会論」

日程：2023年8月28日(月)～29日(火)

会場：福岡カトリック神学院

〒814-0131 福岡市城南区松山 1-1-1 TEL 092-871-4943

シンポジウム・研究発表・総会：新館ホール

懇親会：大食堂

■第1日ー8月28日(月)

9:00 - 受付開始

9:30 - 11:50 開会の挨拶:竹田 文彦

シンポジウム

「どうする日本の教会論」

提題者:川中 仁(上智大学)

濱田 壮久(代読 阿部 伸麻呂)(東京カトリック神学院)

熊川 幸徳(福岡カトリック神学院)

寒野 康太(南山大学)

(10:40~10:50 休憩)

司 会:浅井 太郎

(11:50 - 12:40 昼食休憩 ※弁当は事前申込制、代金は事前振込)

12:40 - 13:10 提題者間での質疑応答

13:10 - 13:30 会場参加者との質疑応答

(13:30 - 13:40 休憩)

13:40 - 14:20 研究発表①「1930-40年代の日本におけるカトリック知識人にとってのニューマン
——思想の選択的受容をめぐる一考察」

木内 翔(南山大学大学院人間文化研究科博士後期課程/東海中学・高等学校教諭)

14:25 - 15:05 研究発表②「岩下壮一による教会論の今日的意味」

桑原 直己(筑波大学名誉教授)

(15:05 - 15:15 休憩)

15:15 - 15:55 研究発表③「イヴ・コンガールの神学における世界と教会の関係

——救いの観点からの考察を中心に」

武内 裕輝(上智大学大学院神学研究科 博士後期課程)

16:00 - 16:40 研究発表④「「パラダイム」に代わる「ツリー」と「リズム」による教会論」

鈴木 敦詞(オリエンズ宗教研究所)

16:45 - 17:25 研究発表⑤「解釈学にもとづく、日本における教会論
——グローバル（地球規模＝地域連動化）的な教会論を目指して」
阿部 仲麻呂（福岡・東京カトリック神学院 教授）

（17:25 - 17:35 休憩）

17:35 - 18:35 総会 ※写真撮影

18:45 - 懇親会 （※懇親会参加は事前申込制、参加費は事前振込）

■第2日－8月29日（火）

7:00 - ミサ（参加自由）

8:30 - 受付開始

9:00 - 9:40 研究発表⑥「実践神学から神学的実践（praxis）への移行
——公共へ向かう教会のために」
原 敬子（上智大学神学部 教授）

9:45 - 10:25 研究発表⑦「教会の主体としての神の民と宣教」
小西 広志（フランシスコ会、東京教区シノドス担当者）

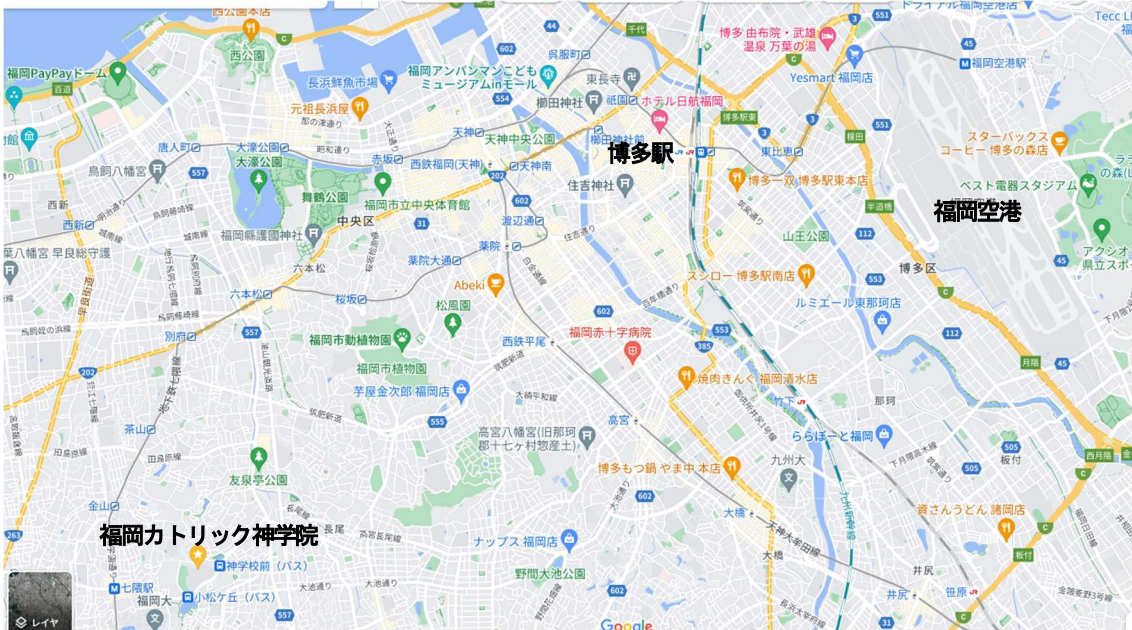
10:30 - 11:10 研究発表⑧「イグナチオ・デ・ロヨラにおける自由と行為」
松村 康平（上智大学基盤教育センター 助教）

11:15 - 11:55 研究発表⑨「アマラリウスにおける詩編唱」
西脇 純（西南学院大学国際文化学部 教授）

12:00 閉会の挨拶：竹田 文彦

福岡カトリック神学院 アクセスガイド

〒814-0131 福岡県福岡市城南区松山1丁目1番1号



周辺図



- 西鉄バス 12 番系統福大方面行「神学校前」バス停下車徒歩 2 分
西鉄バス 16 番系統福大方面行「小松ヶ丘」バス停下車徒歩 2 分
- 福岡市営地下鉄「七隈」駅 1 番出口より福大通りを東に徒歩 15 分